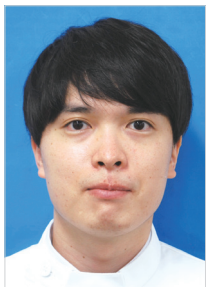


# 泌尿器科医に聞く

泌尿器科医師 **木村 想**



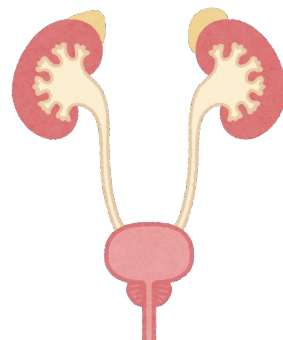
## 男性固有の泌尿器がん —前立腺がんについて—



泌尿器科は尿を作る腎臓から尿の出口まで（これらをまとめて尿路と呼びます）、および周辺の臓器を扱う診療科です。前立腺もまた泌尿器科で診療する臓器の一つであり、膀胱のすぐ下側に位置し、正常であればクルミくらいの大きさです。前立腺は尿路の一部であるとともに、精液の通り道を担うなど生殖にも重要な役割を果たしています。

さて、近年平均寿命は飛躍的に伸びており、『人生百年時代』なんて言葉もあるくらいです。しかしその分がんに罹患するリスクは高くなっていることも知られています。泌尿器科で扱うがんはいくつかありますが、前立腺がんは2019年の統計で、男性で最も罹患率が高いがんでした（94,748例、がん情報サービスより）。前立腺がんは決して珍しい病気ではないのです。

一方で前立腺がんは、血液検査でわかることが多いという特徴があります。PSA（前立腺特異抗原）という数値が上昇することで、前立腺がんを疑う一つの証拠となります。「PSAが高い」と言われたら、まずは超音波検査や直腸診（肛門に指を入れて前立腺を触診します）、MRIの検査を行います。前立腺がんが疑われるような結果であった場合は1泊2日の検査入院が必要となります。そこで前立腺を数カ所針で刺すことで実際にがんがないかをみてみることになり、がん細胞が含まれていれば前立腺がんの確定診断となります。



治療は飲み薬や皮下注射によるホルモン治療、放射線による治療、手術による外科的治療等さまざまであり、患者さんの病態や体力等と相談し、より良い治療法を提案させていただきます。手術は、当院では内視鏡を用いてお腹に数カ所の小さな傷を作って前立腺を切除するものであり、お腹を大きく切る手術と比較して痛みや傷の治りが早いといった特徴もあります。



前立腺がんは罹患率の高いがんではありますが、死亡率は他臓器のがんと比べてそこまで高くありません。これは血液検査で早期発見できる可能性が高いからと思われます。またおしっこが出にくいという方で、その原因が前立腺がんであったということもあります。「検診でPSAが高いと言われた」、「おしっこが出にくくなった」等があれば、一度泌尿器科受診をお勧めします。

発行：独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページ（URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/dayori/>）にも掲載しています。

【お問い合わせ先】TEL(0765)-22-1280（病院代表）

E-mail [chiiki2@toyamah.johas.go.jp](mailto:chiiki2@toyamah.johas.go.jp)



▶バックナンバーはこちらの

QRコードからも確認できます。